

令和 5 年度 施策評価表

施策	0501	健康づくりの推進	施策担当部	福祉保健部	部長	吉村 武史
			施策担当課	国保けんこう課	課長	前川 靖彦
施策の方針	身体と心の健康づくりや食育の推進など、市民の健康寿命を延ばす取組を推進する。					
関連するSDGsのゴール	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 2 飢餓をゼロに</div> <div style="text-align: center;"> 3 質の高い健康を達成し福祉を</div> <div style="text-align: center;"> 11 持続可能な都市を築く</div> <div style="text-align: center;"> 17 パートナーシップで目標を達成しよう</div> </div>					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R4年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
			① 特定健診の受診率	%	36.9	40.0 36.9	45.0 37.0	50.0	50.0
② メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合	%	26.9	23.5 29.9	21.8 30.4	20.0	20.0	20.0	139.4%	152.0%
③ 食育に関するボランティア等の人数	人	256	350 226	360 133	370	380	400	36.9%	33.3%
④ むし歯のない子どもの割合（12歳児）	%	70.8	73.0 75.0	74.0 82.8	75.0	75.0	75.0	111.9%	110.4%
⑤ 自殺対策のゲートキーパー養成講座延べ受講者数	人	1,175	1,800 1,483	2,050 1,765	2,300	2,550	2,800	86.1%	63.0%

施策達成状況の説明

①新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えが続いており、目標値には届かなかったが、AIによる勧奨はがきの発送やイベント時のチラシ配りなどを実施したことにより、令和2年度の31.2%から大きく増え、令和元年度（新型コロナウイルス感染症流行前）に迫る実績となっている。

②特定健診後の保健指導を実施しているが、メタボリックシンドローム該当者、予備軍は増加傾向であり、目標達成ができていない。

③食育に関するボランティアのうち、食生活改善推進員は99人と約半数を占める。食生活改善推進員は平均年齢が高く、新規の養成者よりも辞退者が多く推進員数が減少した。また、令和3年度末で連合婦人会が解散となり、食育ボランティアとしても大幅な減となった。

④むし歯のない子どもの割合は、家庭、保育・教育施設、小・中学校での歯磨きやフッ化物洗口等の取組により、目標値を達成した。

⑤新型コロナウイルス感染症の影響により目標値は達成できなかったが、R1年以降開催できていなかった事業所への健康教育や教職員を対象とした自殺に関する講座を実施することができた。

施策経費

(単位:千円)		R4年度 決算	R5年度 予算	R6年度 見込	特記事項
内訳	事業費	978,453	1,127,060	397,495	
	国庫支出金	704,064	777,506	15,786	
	県支出金	5,198	67,044	70,073	
	地方債	0	0	0	
	その他	20,634	21,311	23,746	
	一般財源	248,557	261,199	287,890	
	人件費	136,184	125,418	—	
フルコスト	1,114,637	1,252,478	—		

施策の概要（細施策）

050101	みんなで取り組む健康づくり	「自分の健康は自分でつくる」を基本に、一人ひとりが自分の心身の状態を知り、適切な生活習慣を維持できるよう、特定健診やがん検診、心身の健康に関する情報発信を推進するとともに、健康教室、各種イベント等を実施します。 また、身近な地域で市民の健康づくりをサポートする人材や組織を育成することで、みんなで楽しみながら取り組む健康づくりを推進します。
050102	食育の推進	市民が「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を送れるよう、食育情報の発信や食育活動を推進します。 また、関係機関や団体等と連携・協力し、市民が自ら食育活動を実践できる環境づくりに取り組みます。
050103	歯・口腔の健康づくり	健康な歯を保ち、食生活を楽しみながら、いきいきと暮らすことができるよう、「むし歯」と「歯周病」の予防のため、歯科検診や歯・口腔に関する情報発信を推進します。
050104	いのちを守る自殺対策の推進	市民一人ひとりが、身近な人の悩みや心の危険信号などの自殺のサインに気づき、ゲートキーパーの役割を担えるよう啓発活動を行います。 また、関係機関や団体等とのネットワークを更に強化し、官民一体となって自殺対策を推進します。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により、特定健診の受診控えがあったが、令和4年度も令和3年度同様にコロナ過前の令和元年度に迫る受診率となった。引き続き、積極的な受診勧奨を行っていく必要がある。
- ②食生活改善推進員の高齢化のため、新規養成者よりも辞退者が多く、推進員数が減少している。今後、食生活改善推進員以外の食育ボランティアの登録を働きかける必要がある。
- ③自殺対策のゲートキーパー養成講座については、今後も民間団体等に対して、積極的に働きかけていく必要がある。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

特定健診受診対象者の特性に合わせた文言やデザインの勧奨はがきの送付などに取り組んでいるところである。今後も掘り起こしが必要な受診勧奨対象者をしっかりとターゲットングしてアプローチをしていく必要がある。

令和6年度新規事業

事業名	担当課	令和6年度見込	対象・事業概要など
		事業費(千円)	
1 帯状疱疹ワクチン予防接種費用助成事業	国保けんこう課	31,314	接種日時点で大村市に住居登録がある50歳以上の方を対象とする(助成を受けられるのは生涯で1度限り)。ワクチンの接種効果や目的、健康被害救済制度を周知。2回接種が必要な不活化ワクチンに対し、上限2万円×6割補助=12,000円/1回を行う(生活保護受給者:上限2万円×10割補助=20,000円/1回)。
2			
3			
4			
5			
		31,314	